

第4号様式（第10条関係）

会議録（要旨）

会議名	令和7年度第2回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会
開催日時	令和7年10月8日（水）午後7時～午後8時15分
開催場所	さくらホール（市民会館）会議室
出席者	出席者：諸橋委員長、森本副委員長、堀上委員、峰岸委員、高久委員、中村委員（計6名） 欠席者：渡邊委員、近藤委員、田村委員（計3名）
議題	議題1 武蔵村山市第四次男女共同参画計画令和6年度推進状況調査報告書について 議題2 その他
結論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1について： 承認する。 議題2について： 次回委員会の開催時期については、事務局が各委員と調整の上、決定することとした。
審議経過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)  (発言者) ◎印：委員長 ○印：委員 ●印：事務局	報告事項1 性の多様性についてのアンケート結果について —事務局より説明—  ◎ 資料1、性の多様性についてのアンケート用紙は、どのように配布したか。 ○ 1人ずつ手渡しした。協働推進課のブースに来た人だけでなく、ほかのブースのスタッフや知り合いにもアンケートをお願いした。回答者には、啓発物品のボールペンをプレゼントした。 ◎ ほかに意見はあるか。 ○ 設問を増やすことはできないか。 ○ 屋外であること、高齢者も多いことを考えると、これ以上設問が増えることは望ましくないと感じる。 ○ 実際にLGBTの当事者が身近にいるか、という設問を増やしていただきたい。周囲に当事者がいる人からであれば、理解や支援について本音に近い回答が期待できるのではないか。 ○ 賛成である。当事者が身近にいない場合、理想論ばかりの回答になってしまうおそれがある。 ○ 詳細を聞く必要はないので、イエス、ノーだけを聞く形で盛り込めないか。 ● スペース的には可能と思われる。しかし、回答者自身が当事者だった場合、回答がためらわれるのではないか。 ○ それならば、どちらともいえないというような回答項目を用意するはいかがか。 ● 対応する方向で検討していく。 ○ 当事者か不明だが、性別について聞いている設問に、「どちらでもない」「答えたくない」と回答している人もいる。 ○ そもそも、性別は聞かなくてよいのではないか。 ○ そういう意見もあるとは思うが、社会の認知度や要望を分析する関係で必須と思われる。「どちらでもない」「答えたくない」が増加しても問題ないが、最初から聞かないので調査の姿勢として不十分であるように思う。

- 紙に記入してもらう方法だけではなく、パネルを用意してシールを貼っていく方法を導入してはどうか。性別や年代での分析はできなくなるが、視覚的にわかりやすく手間なく答えられる。それから、⑧の設問の「パートナーシップ制度は必要だと思いますか。」について、「武藏村山市にパートナーシップ制度は必要だと思いますか。」と変更するのはどうか。
- 現在の設問ではパートナーシップ制度が必要と思われる対象を明示していないため、良い案だと思う。
- 武藏村山市では独自のパートナーシップ制度は導入していないのか。
- 令和5年度の市民委員会で検討した結果、当面は東京都パートナーシップ宣誓制度を活用し、武藏村山市独自のパートナーシップ制度は設けない方針となっている。
- 現在の設問ではパートナーシップ制度そのものの必要性か、武藏村山市独自のパートナーシップ制度の必要性か、受け取り方が分かれる。武藏村山市は、東京都パートナーシップ宣誓制度に則っていることを明示した方が良いと思う。
- ⑧の設問と⑨の設問を統合するはどうか。「武藏村山市では東京都パートナーシップ宣誓制度に則っているが、パートナーシップ制度を知っているか」というような聞き方が可能である。
- パートナーシップ制度について調査すると同時に、周知する意味合いも強まるので賛成である。
- アライ（支援者）などはかなり専門的な用語になってくる。せっかく回答してもらったのだから、このアンケートを知らないことを知る機会につなげたい。アンケートで認知度調査している用語の意味をまとめた、パンフレットのようなものを回答後に配布するはどうか。
- 非常に良い案だと思う。
- ほかに配布方法について意見はあるか。
- 人海戦術では限界があるので、入口で配布する案内マップにアンケート用紙を添えるのはどうか。
- 複数の団体が出展している関係上、協働推進課のアンケート用紙だけを案内マップに添付してもらうことは困難である。
- やはり、人の手で直接渡してお願いしていくことが必要だと思う。
- アンケートに回答したお礼としてもらえる啓発物品がボールペンでは、魅力が少ないのではないか。
- 今年度の啓発物品もボールペンであるが、既に啓発物品は発注しているため、変更できない。
- せっかくお祭りというイベントの日なので、ジュース1本無料になるなどクーポンのようなものはどうか。来年また検討してもらいたい。
- 武藏村山市男女共同参画推進市民委員として、アンケート配布に協力することが可能である。
- 今回は協働推進課主催で行うこととしたため、委員の皆様に謝礼をお渡しすることができない。無理のない範囲で御協力いただければ幸甚である。
- 先ほどパンフレットを配布する案が出たが、ブースに展示したパネルデータをインターネット上で公開することは可能か。わざわざブースに行かなくても、携帯端末等で見ることができるようにしたい。
- 現在、ふれあいセンターでは、作成したパネルデータをインターネット上で公開することについて、検討していない。
- 東京都パートナーシップ宣誓制度のホームページに、ハンドブックやリーフレットが添付されている。そのページに誘導することが可能であ

るか、事務局で検討していく。

◎ ほかに意見はあるか。

－意見なし－

#### 報告事項2 令和7年度男女共同参画推進啓発事業について －事務局より説明－

◎ 資料2、第17回村山デエダラまつりへのブース出店について、意見はあるか。

○ テントは北と南の両側に入口があるのか。

● 実行委員会に確認したところ、南側に幕が張られるとの回答を受けた。入口は北側のみである。

○ 出店は11月8日（土）のみだが、アンケートの収集だけは11月9日（日）にも実施するはどうか。

● 協働推進課の職員は、11月9日（日）には祭りの運営業務に携わる必要があるため、アンケートを配布することは困難である。

○ アンケート用紙の回収箱を点在させるはどうか。

● 回収箱を設置することは可能だが、啓発物品を渡すタイミングが難しい。

◎ できる範囲で手渡し等にてアンケートを集めていただき、今年度は200人以上からの回答を目標にしていただきたい。ほかに意見あるか。

－意見なし－

#### 議題1 武蔵村山市第四次男女共同参画計画令和6年度推進状況調査報告書について

－事務局より説明－

◎ 資料3、武蔵村山市第四次男女共同参画計画令和6年度推進状況調査報告書（案）について、意見はあるか。

○ 非常に見やすいものになっていると思う。

◎ 庁内の会議体である男女共同参画推進委員会において、女性委員の割合が少ないよう思う。

○ 委員会の設置要綱において、委員は特定の役職の職員と定められている。そのため、男女の割合を調整することは困難となっている。

● 44ページの委員名簿では、女性委員は2名であるが、10月1日に人事異動があったため、現在は、女性委員が1名のみとなっている。

○ 市役所の管理職は男性の方が多いのか。

● 令和6年度と比較すると女性の管理職が1名増えたが、男性の方が多い。

○ 市役所の職員は男性の方が多いのか。

● 昨年度末時点での正規職員の人数は、男性職員270人、女性職員131人である。

○ 管理職登用時には、試験が実施されているのか。

● 現在、管理職試験は廃止されている。管理職は、選考によって登用されている。

○ その結果として管理職の多くが男性である現状について、問題であると感じる。

◎ ほかに意見はあるか。

－意見なし－

	<p>議題2 その他 －事務局より説明－</p> <p>◎ 次回の会議は年末から年明け後とのことなので、日程等調整いただきたい。これをもって、令和7年度第2回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会を閉会する。</p>
会議の公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 傍聴者： <u>0</u> 人 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 [ ]

会議録の開示・ 非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等： ) <input type="checkbox"/> 非開示(根拠法令等： )
------------------	---

庶務担当課	協働推進部 協働推進課
-------	-------------

(日本工業規格A列4番)